

事業概要【河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」整備事業】

申請者	神奈川県海老名市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	855,000千円 (247,950千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	- 市民ニーズに対応した活動拠点であるスポーツ広場・ターゲットバードゴルフ場を整備することで体力向上による健康増進や介護予防を期待するとともに、多目的に利用可能な施設として自然豊かなレクリエーション広場を整備することで地域住民の交流拠点となり、河原口地区の若年層定住人口の増加が期待される。 - 市街地での大規模火災時には一時的な広域避難場所としての活用が可能。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 市西部の相模川沿いに位置する河川敷をスポーツ・コミュニティ広場として、また圏央道高架下を施設集約拠点として整備することで、地域住民をはじめとする多世代の利用が想定されるとともに、地方創生に欠かせない若者の市内流入を促進するため、当該整備区域周辺の「人口増加」「高齢化率の減少」「若年家族層の定住促進」などを目標にコミュニティ広場の整備を行う。 【拠点整備事業経費】 河川敷にスポーツ広場（スクリーニングス舗装）、コミュニティ広場（高麗芝）整備、ターゲットバードゴルフ場（不陸整正）を整備 ・スポーツ・コミュニティ広場整備 247,950千円						
地域の多様な 主体の参画	包括連携協定やホームタウンチームとして認定している富士フィルム海老名ミネルヴァAFC（アメリカンフットボールトップチーム所属）やSC相模原（J3リーグ所属）およびノジマステラ神奈川相模原（WEリーグ所属）における各種体験会等の連携を促進する。 また、指定管理者の自主事業や地元自治会のまつり等で市内来訪者の増加を狙い、目的である定住人口の増加を目指す。					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	★①河原口地区の人口増加（+180人） ②第4圏域（河原口、中新田、さつき町、社家）における高齢化率の減少（-0.45%） ③スポーツ広場利用人数（+1万5900人） ④スポーツ団体の会員数（+450人）